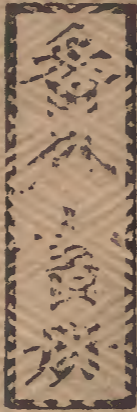


華陽皮相

15



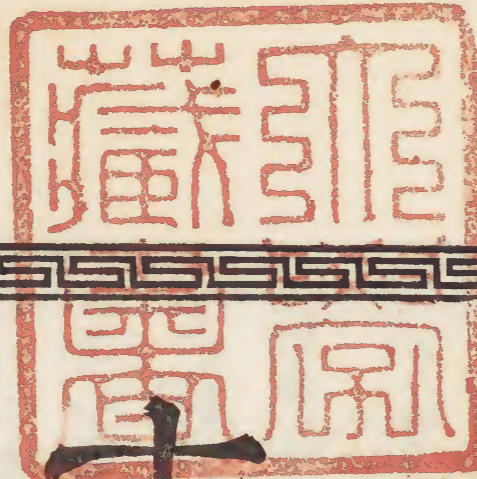
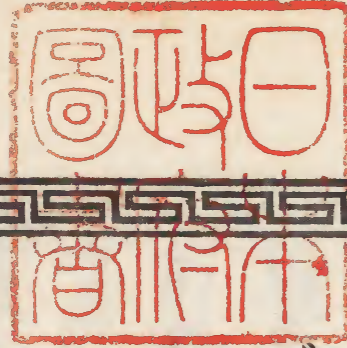
和書門			
類	號	函	架
一七五三一	二七	三六	

內閣文庫		
和書	類	號
一七五三一	二七	三六

動植物

內閣文庫		
番號	和	17531
冊數	3 (2)	
函號	154	427





秦 炯 弭 塵
 吳 門 曳 練

淺草文庫

駮ダクは亦雅ヤ子駮シク馬の腹白とて駮とすとも詩小駮シゲンホク駮シクを尚カクふ禮レイ周人の赤を尚カクふ駮シクは赤とて赤とて色は
陸佃リクテン謂イハレへる駮シクの字もと線ゼンの省シヨウく人ニヒトは赤とて赤とて色は
深シムる小コ一イチ入ニルを線ゼンといふ駮シクは淺セキ淺セキ色シキも赤とて赤とて色は
さ也駮シク馬の赤もさ也とて照テウ一イチ人ニヒト一イチ駮シクを庶シヨク毛モウ
とてぶともさ也氣キの黒クとてさ也さく庶シヨク毛モウは氣キの
らど栗リ毛モウは屬ゾク火カ也ト一イチ
白ハク顛テンハ一名ニヒト戎エウ的テキ靈ロウとて又マタ戴タイ星セイ馬バといふ月ゲツ顛テンとも名ナく
和名ワナ鈔シヤウ小コ一イチがさといふ名ナくさといふ白ハク毛モウありといふ也亦雅
小コ的テキ顛テンハ白ハク顛テン也といふ又マタ的テキ顛テンともいふ月ゲツ顛テンハ莊シヤウ子シにとも

陸佃リクテン云ク白ハク顛テンも亦マタ上ジョウ葉エフ也周禮シユレイ東トウ帛ヒツ匹ヒツ馬バ也奉ホウじる小コ車シャ上ジョウ
して九馬クウバといふはつとてあま車シャの節セツ的テキ靈ロウ也といふ先セン白ハク顛テンと
まて九馬クウバといふはつとてあま車シャの節セツ的テキ靈ロウ也といふ先セン白ハク顛テンと
相混サマシしての靈ロウといふはつとてあま車シャの節セツ的テキ靈ロウ也といふ先セン白ハク顛テンと
を的テキ靈ロウとて唯タラシ上ジョウに旋セン毛モウあり又マタ白ハク顛テンの也といふ也
周禮シユレイ乃ナラバ文モン也ト明メイらシ小コ又マタ詩シ有ユウ車シャ駮シク有ユウ馬バ白ハク顛テンとい
ふもさ也也義ギある也昔シヤク蜀シヤク乃ナラバ先セン主シュ的テキ靈ロウ駮シクは漢カン水スイ陸リク
といふ也也乃ナラバ凶キウ澄テイといふも小コ先セン主シュ的テキ靈ロウ駮シクは漢カン水スイ陸リク
馬バも昔シヤクといふも今日コンニチ急キツなり勢セイどいふもさ也也といふもその言
哉ヤ同ドウといふもさ也也如ニヒト忽トビ一イチ躍トビ二ニ丈シヤウむりさびはかりて

終小主の難と克れ^イた^イあ^イら^イず^イ果^イして^イ凶^イあ^イら^イず^イ也^イ更^イ馬
 を^イ月^イ乃^イ精^イと^イ此^イ馬^イ以^イ成^イせ^イら^イひ^イ也^イ載^イく^イ何^イが^イ凶^イ相^イと^イす^イ人
 也^イ也^イ的^イ吻^イハ^イ旋^イ毛^イり^イく^イ白^イ毛^イの^イ鼻^イの^イよ^イあ^イら^イず^イ也^イ是^イを
 凶^イ相^イと^イす^イ也^イと^イい^イふ^イ世^イ説^イと^イい^イふ^イ也^イ又^イ按^イ一^イ國^イ憲^イ
 家^イ猷^イと^イい^イふ^イ口^イ中^イに^イ黒^イあ^イら^イず^イ也^イ衝^イ鳥^イと^イ名^イけ^イ白^イ額^イの^イ口^イ入^イと
 梅^イ雁^イと^イい^イふ^イ二^イ名^イと^イ的^イ盧^イと^イす^イ也^イ又^イ漢^イ書^イと^イい^イふ^イ唯^イ衝^イ鳥^イ梅
 雁^イハ^イ皆^イ善^イ相^イ也^イあ^イら^イば^イろ^イろ^イと^イい^イふ^イ也^イ又^イ額^イを^イ星^イが^イら^イひ^イと^イい^イふ^イ
 月^イが^イら^イひ^イと^イい^イふ^イ也^イ

顛



驃愚表切



騷
鳥雁切

騷
以律切

騷ハ騷馬の白跨るる馬の事也。本雅ノみえあり駒の
首章小有騷者皇と稱どけい皆馬色の貴ぶ
不あると華る也跨る脾間をいふ字或は騷
惟とありこれ稱よ枕と和名は施とばあふ白とを
いふ也とありや
騷も尾本れ白とけいを本雅ノみえ尾本と尾
株ともいふとありは尾筒とよぶ

尔雅子一目白と駒^カといひ二目白は魚といふとあるは
 有驪^カも真とある是也魚を環^{ウツ}眼馬といふ爾雅の注
 みは馬に最下なるものと其眼魚に似ゆの故也魚を
 名くと伊和名は馬と云ふ字或は駒^カといひ作り又
 駒^カは此の系圖より駿^カ魚^{ラウ}語^{ラウ}の字を以てし
 の魚と云ふ一也此は省く駒を和名よかことと
 云ふ



駒
 牛居切

駒
 戸開切

前足皆白と驥ケイといひあ乃左足白は蹄キといひ後
 右足白は驥キヤウといひ俱キよ木雅キヤウし出シをり説文シ
 蹄キといひ是也也注キといひ傳キ乃角之蹄シラ之皆是義也
 按キ漢書の驥キ驥キは駉キヨ驥キヨの類キし其毛色小
 小乃河キいん人龍驥ハ馬騰アガル乃義キありてをの
 つゝ別義あり



驥キ息良キ
切

蹄キ去奇切

驥キ賢キ矣キ切



示雅子曰躡皆白と首をいふと名註し俗乃り
 多踏雷馬也と次後をいふと名く玉篇に西蹄
 皆白はいふと是也躡も廣雅に蹄也と注し
 示雅子曰尾白は駿といふと名く吉駿の文馬の名小
 して山海經にみえたり
 示雅子曰別と名く駿ありといふと名く別は竅也とあ
 りと馬の尾白と名く

埤雅サイ、黃驂サイと黄サイとを平サイとすとの黄サイと馬サイは上サイ色也との
 里故小詩サイ有驂サイ有黄サイといひ列サイに北サイ而黄驂サイ与牡天
 下之馬也とある黄サイと牡サイとの上サイ色少く驂サイは牡サイを
 多サイなり又黄馬の尾白と驂サイと名くと集韻サイよりんも字
 或ハ驂サイはゆか
 説文小駁サイハ赤鬣サイ鬮サイ身サイ目サイ如サイ金サイと博物志サイハ鵠サイハ黄
 目の馬サイなりといひ山海經サイハ吉驂サイといひ昂サイ是也周文王
 の時大戎サイの献サイとておもはるこれとてこれと絶サイるを乃
 馬サイ小あゝび唐書サイ小貞觀サイ十三年三月己巳辰御殿の馬
 白サイる朱鬣サイの駒サイと産サイせりといひり

黄



駁無文切

駁ハ毛色ノ斑^{マダラ}あるといふ和名ナガラ馬といふ詩ノ皇駁^{ミカク}を
 馬とありて傳ハ駁自^シ駁^ジとすといふ疏小駁ノ處を
 あり白^{シロ}の斑^{マダラ}の馬也といふ駁^シと白^{シロ}とを
 あり故^ユ玉^{タマ}筋^{スジ}小駁^コなるを^サ純^{マカ}をいふといふ此^コ際^サは
 駁^シと上^ウ色^{シロ}とを^サせ^シび^シま^シ言^フ小^コ謂^フなり二色^ニの馬^ノハ^シ性^{セイ}質^{シツ}を
 純^{マカ}良^{ヨク}あり^トと^シ理^リ勝^{マカ}の^ノ從^シ也古^コ一^{イツ}國^{クニ}君^{キミ}駁^シ馬^ノ小^コ素^ソる^ル亦
 是^{コト}也馬^ノ上^ノ色^{シロ}也と陸^{リク}佃^{テン}い^ハり
 裏^{ウラ}駁^シハ小^コ馬^ノ也又^{マタ}玄^{ケン}駒^コといふと不^フ雅^ヤなり^ト爲^シ信^シせ^シれ^ト果^カ
 下^カ馬^ノといふ^ハい^ハる^ハ去^キ佐^サ約^{ヤク}ノ果^カ下^カ馬^ノハ^シ流^{リウ}國^{クニ}より^シ出^デル^ル魏^{エイ}志^シ
 小^コみ^ミの^ノ朝^{チウ}鮮^{セン}より^シ出^デル^ル也^ト字^ジ書^{ショ}に^シ駁^シとい^ハひ^ハ駁^シとい^ハふ^ハ皆^ミ是^{コト}也



毛詩傳小青黑と騏キといふと凡の陸佃云騏キ或蒼艾色
 ととと按母語其弁伊騏キといふ皮弁といふ也皮
 弁一名と騏弁といふと其色の騏馬キに似るが如也
 騏キ或和名小黒河毛といふ又騏キを連錢驄キとするといふ
 つゝ列義
 亦雅キと旋毛キの所在を辨く馬乃名とせざるもの旋毛の
 膺キ小女と宜業キといふ一名の官府馬といふ旋毛財後キといふ
 と減陽キと名け幹キといふあるは莽キ方と名を背キ母河キは
 関キ廣キ也名く字或ハ騏驎キより化る

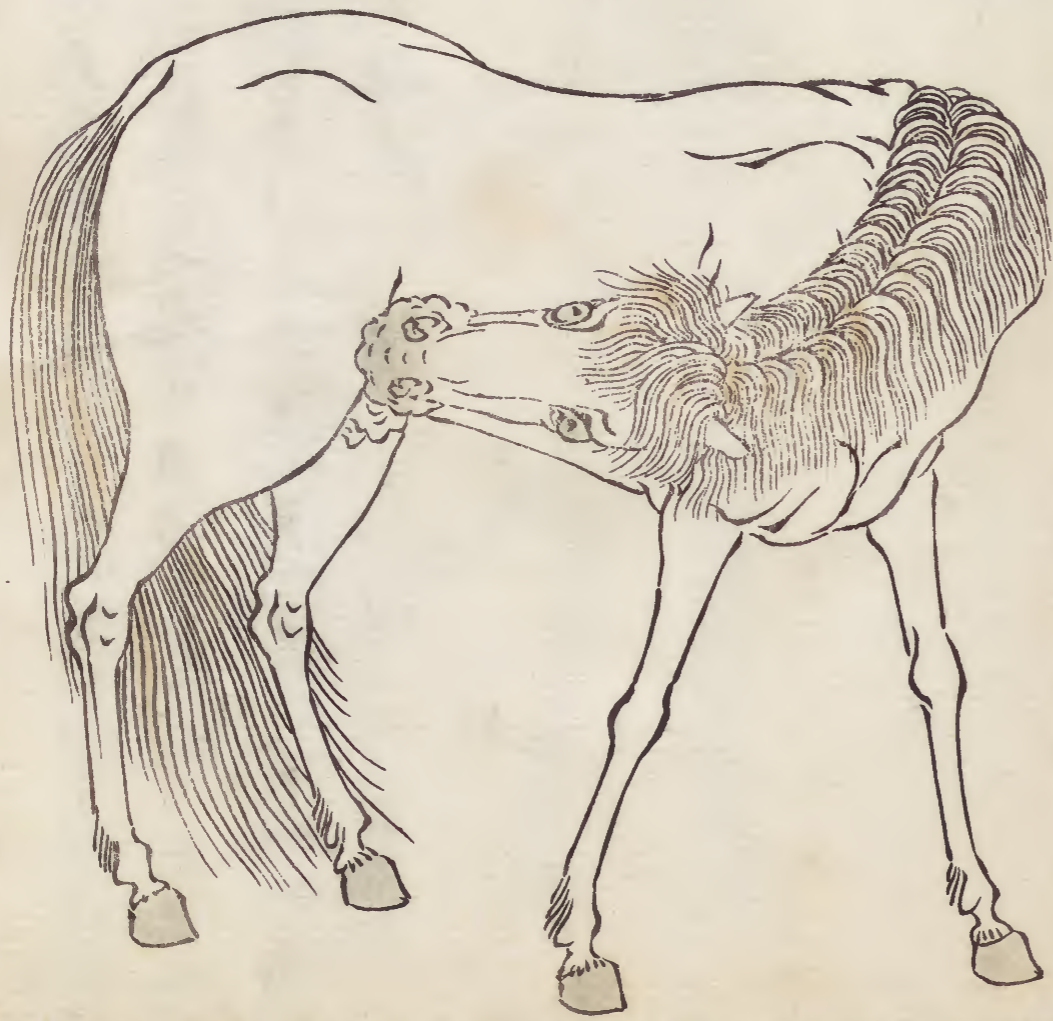


騏キ 渠之切

空乘

周禮小馬八尺以上と龍とすといふ亦雅文八尺は駮^{シウ}
 といふ又絶有力とを駮といふ又周禮授人職六馬とす
 ちと種馬あり戎馬河内戎馬ハ軍事に用る此馬ハ
 之即駮也其字事戎指^{サセ}る也又亦雅戎戎事といハ
 力と齊^{ソコ}也といふ馬力あると駮とす可也史記
 一良馬と龍種と稱するも二義をの稱する也子
 里乃駒を龍駒といふ又駮^{ケウ}駮^{テイ}と名く生事て七日を
 母^ノと起ると也又玉鬐^ノ馬ハ高大なりと駮^ケと名く

龍





駮
上蒲潑切
下候肝切

駮^{ハツ}輪^{カン}ハ蕃^{バン}中^{チュウ}ノ大馬也ト廣韻^{コウオン}ノ入^{ニク}ノ近時^{キンジ}臺^{ダイ}
 船^{セン}ノ載^{サイ}來^{ライ}わ^ルノ大馬^{ダイバ}ト此類^{コノルイ}ヲ云^{イハ}フ又^{マタ}駿^{シユン}ト名^ナク
 鳩^{コウ}ノ反^ヒリ又^{マタ}駮^{ハツ}トモ^モト上^{ウヘ}ノ張^{シヤウ}流^{リウ}ノ反^ヒリ下^{シモ}ノ所^{ショ}鳩^{コウ}ノ
 反^ヒリト皆^{ミナ}蕃^{バン}馬^バノ称^{ナヅケ}也

附録

華陽皮相既ス成て贖トウシヤ寫と歴代生モト需モトむ生れ言ふ
よめて驢黃物色カふカ國説あることキ以聞遂キ就て主
書と借カふカは得ぬの黒澤氏名カ定幸俗稱と本五助と
以カ自叙カと將野尚信とカして國をカひカと乃カりカ新岡
也カをカ後をカ詳カよカするカふカ示カ雅カよりカ下カ引カ不カ已カよカ弘カくカをカ後
六カめカらカうカ通カつカれカどもカ我書既カ成て體裁カもカ亦カ同カ
かカらカずカ稿カとカ更カるカもカ類カしカ且説カのカ目カらカらカらカるカ参カ考カ
のカ得カ益カ多カくカいカあカらカるカべカしカ但黒澤氏カのカ書カハカ和名鈔カと
主として字と求めて填カとカ故カもカあカらカるカべカらカるカもの多

一余ハ西土カの名義カとカあカらカしカ和名カもカあカらカるカべカらカるカと
とカ爾カ如カくカ同カじカのカふカはカ可カ以カ也カ今和名カのカ目カらカらカるカは
のカせカびカ況カ異カあカらカとカ舉カげてカ附録カのカ首カ小カ並

騷ス 國説カ小和名鈔カよりカのカ鼠毛カとカ又カ華毛カとカ按カ母
和名鈔カハカ漢語鈔カとカしカ騷カハカ鼠毛カ也カとカ又カ自註カハカ華毛
とカハカ是カニカ説カ也カとカるカはカ鼠毛カもカ又カあカらカるカべカらカるカハカ非カ也
本條カハカ戴カ古カ騷カとカ華毛カとカしカりカとカ後カ母カハカ驄カとカ華毛カと
してカ騷カをカ鼠毛カとカしカ和名鈔カのカ時カじカハカ渾カどカ故カハカ鈔カハカ
連錢驄カとカ連錢華毛カとカしカりカハカ然カ也カとカ是カ將カ騷カハカ華毛カ
のカ稱カ尚カ存カ也カりカ○騷カ 國説カハカまカらカらカるカとカしカ今カ按カハカ騷カハカ美

紫騮 國説より海栗毛といふ漢語抄小騮と鹿毛といふ鳥
騮と黒鹿毛といふ黄騮を赤栗毛といふ紫騮は黒栗毛を
と皆取也紫騮といふ騮といふ別ありはけいけい海栗
毛といふものも也鳥騮は黒栗毛といふ黄騮といふ栗
毛也國説膚く漢語抄の譯はより後ひくく ○騮
國説く公より毛といふ俗に公より毛といふもの特は鳥道
ありて鳥は噪天より似たりといふを義の存する譯ら
ざるべし乃西土の黄騮をいふは騮といふ黄毛をい
ふといふ也故ありて ○騮 國説小華花毛といふ今按り
和名抄に桃花馬といふは華花毛乃紅色あり也と記す

黒澤氏經と桃馬といふはより今も和名抄に記すといふ
と小騮は紅色と帯りて今も和名抄に記すといふ
して華花毛といふは抄に華花毛と黄騮といふは且
抄に桃花馬といふは今も和名抄に記すといふ
彼抄に記すは今も和名抄に記すといふ ○騮油馬あり
糟毛 ○斑駟騮 海栗毛といふは又虎鹿毛也三馬何の如し
して表出するは今も和名抄に記すといふ
と出ると別な意義あり 重複といふ ○騮 國説く鹿毛を
いふといふは今も和名抄に記すといふ
と出ると別な意義あり ○騮 國説く鹿毛を

ほよ尔雅の文と析ロラキく二名とほよるれども下文の駮カウ也駮コシ
駮トや亦皆馬小あらしむるは駮駮ハ即野馬と釋と
ふよ明らる也廣韻ハ駮駮ケイ上胡息反下堅美反野馬也一名
駮駮トク上盧谷反下徒谷反といふと又玉篇ハ蹄とと駮キヤウと名くあり
又駮駮キヤウ上力鐘反下力竹反といふ駮駮カウ上五といふ又駮駮キヤウ師キヤウと名く
又駮駮キヤウハ馬カウに似く牛蹄也駮カウもるるに似く鹿と
食と

又神馬と稱どるものあり腰裏ハ神馬也と漢書ハ見
ゆ神馬と騰黃といふを符瑞圖小のといふ驢フク薄必と名
く九宮の儀よりん程又駮キヤウ職收ハ神馬也と玉篇よりを

そり又白馬朱鬣あるは神馬といふ禮緯よりと
索駮タクもある馬の類也鄯善國より出ると西域傳よりと
脊上ハ隆肉ありて鞍のカウ一名を封牛といふ脊上
封牛のカウあるは也又駮駮カウ上陟格反下音陌あり言今漢
驢牡馬牝馬ハ駮キヤウと名く駮キヤウ又駮駮カウをうむと伊
玉篇ハ驢父牛母なるは駮駮カウとすといふ又驢ハ馬の
といふは長耳也それ健ハ馬ハ及びと褐白黒ハ三色
の也又野驢といふあり遼東より出るといふ驢ハ似て
駮カウなりといふ駮カウハ似く驢ハ似て健也漢書に單
于六駮カウハ素終りとあり字のと羸ハ似る羸牝馬牡

馳る後騁丑野といひ実とると騁カといひ馬の腫と馳チといひ馬の嚙カムと馳ベキ見といひ馬痛を馳キといひ腹巨支痛を騁ケといひ教ユクと食クて疾疾疾疾騁上音陸騁下音郵といひ黃痛十二種三十六種ありを勢と割カ去するは扇といひ字式ハ扇ハ也

馬一隻セキといひ匹といひとを義一とて風俗通小馬夜行小前四丈をみる故一匹といひ又馬といひとて後横長とて是るるあり匹といひ又古々馬束帛と贈るる故り帛と偶ツクて是といひ又藝ゲイ文類聚ルイ小馬の光景一匹乃長さなる故匹といひとを是を説ハくはるる也

と文心彫龍テウよ古々車ハ雨ヲをりて稱ハ馬ハ匹とてその車に佐乗あり馬ハ騁サ腹ありと皆對並サて稱ハと其の單カンありと一匹といひ匹丈匹婦の匹乃とて此後と長どりとすべ

古來駿馬乃名称甚繁リヤクキヨ今乃々雨を略ハ挙と周穆王八駿穆天子傳

赤驥

盜驪

白義

踰輪

山子

渠黃

華騮

綠身

又拾遺記所載

絶地

翻羽

奔霄

超影

踰輝ユキ

超光

騰霧トウフ

扶翼フウキョク

秦始皇七馬古今注

追風

白兔

躡景シヨウ

追電

飛翾カサ

銅雀

晨鳧シヨウ

漢文帝九良西京雜記

浮雲

赤電

絕羣

逸驃イッテウ

紫燕

綠耳

龍子

驎駒リンコ

絕塵

唐太宗六駿唐書

青驄

什代赤シヤク

特勒驃トクログ

颯霧紫サツ

拳毛騮ケンマウロウ

白蹄烏

又骨利國所獻十驥

騰霜驄トウシヨウ

皎雪驄カウ

凝露驄ネイロ

懸光驄ケンクワウ

决波踰

飛霞驃

發雷赤

沅金駒

翔慶紫シヨウケイ

奔紅赤ホン

玄宗時名馬

玉花驄

照夜白

浮雲

飛黃

又文苑圖所獻六馬

紅玉驄

紫玉驄

平山驄

凌雲驄

冠香驄

百花驄

其解漢末呂布が名馬と赤兔といふ後小関羽あり、騎る
蜀の張飛が名馬は玉追といふ又豹月鳥あり魏の武帝
の騎、赤と白雀といひ曹植が名馬は驚帆といふ唐宗
乃二馬は如意駒といひ神志驄と名く代宗の時、九花札
河より又秦叔寶が馬と怒雷駃と名け郭子儀が馬は
獅子駒といふ師子といて名くる隋煬帝小獅子駒あり
梁武帝より玉獅子河より姚興が馬と名く獅子と名く李
白が馬は黃芝と名け鄭則が駿は撒豆驄といふ五代
劉晏が愛する赤といひ自立將軍と稱し金主完顔亮が小
驄といふ馬と飾り大齊太祖の驄も亦のよれ龍驄

將軍より龍驄赤といふ朱温が馬は一丈鳥と号しと
河より宋仁宗の名馬は玉逍遙といふ碧碧駃といふ
畢再遇は兗州の家將也その名馬と黒大騮と名く元の
時、鳳頭といひ花滿川といふの名馬あり夏明昇が
家馬飛越峰と飾りといふ又杜重威その馬と吉祥座
と名け景延平肉胡林といふ又王昶が五馬といふ各名
一は金鞍使者といふを千里將軍といふ一は致遠侯
といふ一は渥洼といふ一は驥園公といふ

跋華陽皮相

衣服在身不知其名是謂圖今矣駟驢
皇駁在厩不能稱其名可乎澤先生
此舉裨益固非少然於余乎何與世之
畫馬者動輒藉口於神駿殊不知形似
且不稱豈渠求氣韻乎况復畫關
張者不知赤兔月烏將為識者買一

笑善欲求神駿於筆端乎則宜
詳審皮相也故余不辭乞乞之需
亦揮絹與刻亦不同科而復著色以
板印者乎蓋所以名皮相已

信濃木雍書於江戸

吳蓉窩



旭山澤先生著述

芙蓉木先生圖画

寛政紀元新鑿

江都

剗刷

關根新兵衛刻

書林

須原茂兵衛梓

